

トピックス I

工業系高校生の保護者との意見交換会の開催

石川県建設業協会（会長 北川義信）は9月26日（金）に金沢市立工業高校で保護者との意見交換会を開催した。生徒の進路決定に影響を持つ保護者に建設業のことを知ってもらうことを目的に今回初めて開催したもので土木科1・2年生の保護者15名と協会から10名及び土木科の先生2名も参加した。

最初に北川会長が「モノづくりの喜びや地図に残る仕事を子供さんにさせてやってほしい。」と挨拶したのち、協会側からDVDを使用して「明日に向かって力強く～強靱な日本の未来を創る 地域建設業～」と、辻専務から「いしかわの土木」により公共事業の概要を、北川吉博青年委員から「現場技術者について～現場技術者の魅力について～」と題し現場技術者の仕事内容、建設工事の魅力等を市立工卒業者の立場も交えて説明した。

その後、意見交換に移り、保護者からは、「卒業するまでに資格を取っておいた方が良いか。」、「資格取得と給料の関連性は。」、「高卒の女性でも新卒で採用するのか。」、「大卒と高卒で給料や出世のスピードは違うのか。」などの質問が出され、「高校生在学中でも獲れる資格として測量士補、2級土木施工管理技士の学科、ボイラー、危険物取扱責任者等があり」、「協会では卒業後富士教育訓練センターで小型クレーンや玉掛けの資格取得のお手伝いをしている」、「給料と資格については「土木施工管理技士の資格を取れば上がる。」、女性採用については「ドボジョ（土木系女子）として女性は今大変求められている人材であり、県内でもドボジョだけで現場を仕切っているところもある。」、大卒と高卒の違いについては「土木の世界は学歴よりも経験が大事、現場に柔軟な対応ができる人が良く、高卒だから不利ということはない。」などと説明した。また、「建設業はどんなところか知るためにインターンシ



北川会長挨拶



会場風景

ップを活用してほしい」、「入職してすぐに辞めるよりインターンシップで経験を積んでほしい」と説明したのに対し「1日目、2日目はつかれたと言っていたが完成したのを見てから、重機を使っているところを見てから目の色が変わってきた。」、「うちの子は1年生だが来年ぜひインターンシップを受けさせたい。」と前向きな発言も聞こえた。保護者のわが子の就職に対する心配が伝わり、協会側が丁寧に答えることで相互の理解が深まり大変意義のある意見交換会となった。

金沢市立工業高等学校高校生の保護者との意見交換会参加者

○金沢市立工業高等学校土木科保護者 15名

○金沢市立工業高等学校

土木科長	黒崎弘司
土木科教諭	渡辺由香

○（一社）石川県建設業協会

会長	北川義信	北川ヒューテック(株)
雇用対策特別委員会副委員長	豊蔵世紀	(株)豊蔵組
建設青年委員会副委員長	井戸谷信一	北興建設(株)
建設青年委員会委員	北川吉博	北川建設(株)
〃	野村幸平	大三建設(株)
専務理事	辻啓一	事務局
常務理事	北村清成	〃
〃	中村善春	〃
参与	今井勝彦	〃
事業課長	室山統	〃